

(本人・代理人への説明および配布用)

造影剤説明書

(※必ず問診票・同意書の記入前に主治医(依頼医)から
造影剤の説明を受けてください)

造影剤とは、病気を見つけやすくするためにCT・MRI・血管造影などの検査で血管に注射する薬です。
体に入れると熱く感じる事がありますが、これは副作用ではありません。
合併症・副作用としては以下のようなものがあります。

●合併症

1) 注射針を刺した部分に造影剤が漏れたり、内出血したりする。

●アレルギー反応(直後～数日後)による副作用

1) 軽い副作用: 発疹(かゆみ)、咽頭・喉頭(のど)の違和感、くしゃみ、せき、嘔吐など

2) 重い副作用: 呼吸困難(息苦しさ)、アナフィラキシーショック(意識喪失)

心停止(約10万人に一人)

死亡(約50万人に一人)

- ・造影剤アレルギー
- ・ぜんそく
- ・腎臓の働きが悪い

⇒こういった方は造影剤を使った検査が出来ないことがありますので、
必ず事前にお申し出ください。

しげい病院長

造影検査後の注意事項

- ①検査後は、出来るだけ水分を摂取してください。(透析をしている方を除きます。)
造影剤は、「尿」と一緒に体の外に出ていきます。いつもより水分(お茶、水、ジュース等)
を多めに飲んで「尿」を出して下さい。水分制限をされている方は医師にお申し出下さい。
※血液透析をされている方は、検査後早目に透析を受けて下さい。
- ②検査後は、出来るだけ安静にしてアルコール、たばこなどは控えるにして下さい。
- ③検査後の食事は普通にお取り下さい。
- ④検査後24時間は、極力一人でいることを避け、何か異常がありましたら、
周囲の人に知らせる状態でいて下さい。
- ⑤授乳中の場合造影剤投与後3日間は授乳を控えること(乳汁中に造影剤が分泌されます)
- ⑥検査後、1時間から数日後において、
《悪心・おう吐・かゆみ・じん麻疹・呼吸困難・くしゃみ・流涙・顔のはれ・全身不快感・
脱力感・吐き気・胸が苦しい・声がれ・むくみ など》が現われることがまれにあります。

⑥のような症状と思われるものや他に何か異常があれば、
すぐに当院に来院されるか最寄りの医療機関を受診してください。



しげい病院 (086) 422-3655 (代)

(夜間や休日には、当直医師が対応致します。)